

京都府公立高等学校入学者選抜の概要

※入学者選抜の詳細については、「令和5年度京都府公立高等学校入学者選抜要項」（以下、「入学者選抜要項」という。）によること。

前期選抜（2月16日から17日までの間に実施）

※音楽科は、2月4日及び5日に実施

概 要

- 受検機会を複数化し、多面的な評価尺度による選抜を行う。
- 学科ごとの方式、募集割合、検査項目等や実施に関する要項は、高等学校長が定める。（以下「実施要項」という。）
- 1つの高校の1つの学科、系統を選んで志願すること。

募集学科

- 全日制課程のすべての学科、定時制課程（昼間）の農業及び家庭に関する学科

募集人員

- 各学科等の募集定員の内、別に定める人数とする。（入学者選抜要項参照）

検査項目と選抜方式

検査項目	選抜方式		
	A方式	B方式	C方式
共通学力検査（国語・数学・英語）又は高等学校が独自に作成する学力検査の中から合わせて5教科以内	必須		必須
報告書	必須	必須	必須
面接、作文（小論文）のいずれか1項目又は両方	必須	必須	必須
活動実績報告書	（注）選択	必須 （定時制を除く）	（注）選択
実技検査			必須

注 「選択」は、前期選抜を実施する高等学校長が必要の有無を定めることを表す。

※ A方式で異なる検査内容等を定めている場合は、1型、2型に区分する。

※ 共通学力検査 実施3教科 ×（各教科50点）＝ 150点
高等学校が独自に作成する学力検査については実施要項による。

特別入学者選抜 — 選抜ごとに出席資格や実施校（学科）、募集人員等を定める。 —

- 海外勤務者帰国子女特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 日本国籍を有する海外勤務者の子女であり、外国において引き続き1年以上在留していたこと、令和2年2月1日以降に帰国したことなど
 - ＜選 抜＞ 普通科：共通学力検査（国語・数学・英語）（問題文に振り仮名を付す。）、面接、報告書（様式Cの1）又は（様式Cの2）
専門学科：独自学力検査（国語・数学・英語）、面接、報告書（様式Cの1）又は（様式Cの2）
- 中国帰国孤児子女特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 終戦前（昭和20年9月2日以前）から引き続き中国に居住していた者で、終戦後初めて永住の目的をもって帰国したものの子女であり、帰国後小学校4学年以上の学年に入学したものであることなど
 - ＜選 抜＞ 共通学力検査（国語・数学・英語）（問題文に振り仮名を付す。）、面接、報告書（様式Cの1）又は（様式Cの2）
- 社会人特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 令和5年4月1日現在満20歳以上であることなど
 - ＜選 抜＞ 面接、作文（学力検査は実施しない。）
- 長期欠席者特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 令和5年3月に中学校を卒業する見込みの者で、中学校在籍中、いずれかの学年で年間30日以上欠席がある者など
 - ＜選 抜＞ 共通学力検査（国語・数学・英語）、面接、作文、報告書（様式Cの3）
- 京都府立清明高等学校特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 清明高等学校での学習等に取り組む意志が明確である者など
 - ＜選 抜＞ A方式：独自学力検査（国語・数学・英語）、面接、作文、報告書（様式Cの4）又は（様式Cの5）
B方式：面接、作文
- 京都府立清新高等学校特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 清新高等学校での学習等に取り組む意志が明確である者など
 - ＜選 抜＞ A方式：独自学力検査（国語・数学・英語）、面接、報告書（様式Cの4）又は（様式Cの5）
B方式：独自学力検査（国語・数学・英語）、面接、作文
- 京都市立京都秦和高等学校特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 不登校経験のある者や、行動や認知の特性により学びに困りがある者等、学び直しを必要とする者など
 - ＜選 抜＞ 独自学力検査（国語・数学・英語）、面接
- 全国部活動特別入学者選抜
 - ＜出席資格＞ 入学後、特定の部活動へ加入することなど
 - ＜選 抜＞ 共通学力検査（国語・数学・英語）、面接、実技検査、報告書（様式Cの1）又は（様式Cの2）、活動実績報告書【運動実績の記録】

中期選抜（3月8日実施）

概要

- 第2志望まで志願できる。なお、全日制については第1志望に順位をつけて、異なる志願先を2校又は2学科、系統等まで志願できる。
- 全日制と定時制をまたがる志願はできない。ただし、保護者の住所の存する地域が丹後である場合に限り、第1志望の課程に関わらず、丹後地域の定時制を第2志望として志願できる。
- 第2志望については、第1志望優先で合格者を決めた後、なおその学科等に欠員がある場合、第2志望で選抜を行う。

募集学科

- 前期選抜において募集定員の100%を募集する学科等、京都府立清明高等学校及び京都市立京都奏和高等学校を除くすべての学科

募集人員

- 募集定員から前期選抜又は特別入学者選抜に合格した者を除く人数とする。

選抜方法（全日制課程）

※定時制課程については入学者選抜要項を確認すること。

- 報告書及び学力検査の成績を総合的に判断し、合格者を決定する。

ステップ1

第1順位校

判定

合格

（各高校の中期選抜募集人員の90%以内）

ステップ2

第1順位校及び第2順位校

（各高校の中期選抜募集人員から
ステップ1で合格した人数を除く人員）

判定

合格

※ステップ2で第1順位校及び第2
順位校の双方ともに合格範囲内
となった人は第1順位校で合格

第1志望不合格

第2志望へ

第1志望優先で合格者を決めた後、なおその学科に
欠員がある場合、第2志望で選抜

入
学
校
決
定

中期選抜における報告書の評定と学力検査の取扱い

報告書

9教科 全学年の評定 195点 (①+②)

- 5教科（国語、社会、数学、理科、英語）
（各教科5点）×（5教科）×（3学年分）= 75点（①）
- 4教科（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）
（各教科5点）×（評定を2倍）×（4教科）×（3学年分）= 120点（②）

学力検査

5教科 200点

- 実施5教科（国語、社会、数学、理科、英語）
（各教科40点）×（5教科）= 200点

後期選抜（3月24日実施）

概要

- 前期選抜、特別入学者選抜及び中期選抜を実施した後、相当の欠員が生じている場合に実施することがある。
- 後期選抜実施校は、中期選抜の合格者の発表と同時に発表する。

選抜方法

- 報告書、学力検査（国語・数学・英語）の成績及び面接の結果を総合的に判断し、合格者を決定する。
- ※ 学力検査 各教科30点の合計90点

通信制の課程

- 3月27日、28日、29日に受付を行う。
詳細は、府立朱雀高等学校又は府立西舞鶴高等学校に問い合わせること。
- 学力検査は実施せず、必要に応じて面接を実施し、報告書等により選抜を行う。